

「山口県新たな時代の人づくり推進方針」の概要

変化が激しく将来の予測が困難な時代の中で、地域や社会の課題に果敢に挑戦し、それを乗り越え、本県の未来を切り拓いていく若者を育成するため、令和3年3月策定

《新たな時代を担う人材像》

ふるさと山口に誇りと愛着を有し、高い「志」と「行動力」をもって、地域や社会の課題を自ら発見、他者と協働しながら解決し、新たな価値を創造できる人材

《6つの『取組の視点』》

1 生涯にわたる人づくりの基礎を培う

- ① 幼児教育・保育の充実
- ② 学びの接続と一貫した人づくり

2 ふるさと山口への誇りと愛着を高める

- ・山口県人としてのアイデンティティの確立
- ・「ナナメの関係」から刺激を受け合う「憧れの連鎖」の創出

3 新たな価値を創造する力を育む

- ① 地域や社会が抱える課題を発見し、他者と協働して解決する力の育成
- ② 自らキャリアを構築する力の育成
- ③ グローバルな視野の育成
- ④ AI等新しい技術を活用する力の育成

4 誰にも等しくチャレンジの機会を創る

- ① 障害のある幼児児童生徒
- ② 家庭環境等に困難を有する幼児児童生徒
- ③ その他特別な支援を必要とする児童生徒
- ④ 「学び直し」を希望する若者

5 地域や時代のニーズに対応し、チャレンジのための環境を整える

- ① 児童生徒の可能性を伸ばし、「志」を叶える新たな学びの場の創造
- ② 教育のICT化の推進
- ③ 社会の変化に対応した専門高校の充実
- ④ コミュニティ・スクールの深化
- ⑤ 県内高等教育機関における機能分担と連携の推進

6 新たな人づくりの推進体制を築く

- ① 幼稚園教諭・保育士等の資質能力の向上、確保・育成
- ② 教職員の資質能力の向上
- ③ 新たな学びを先導する体制整備
- ④ 推進方針に基づく取組の推進と検証

取組の視点 1 生涯にわたる人づくりの基礎を培う

【主な取組】

- ・ **山口県乳幼児の育ちと学び支援センター**と山口県立大学の**子ども家庭ソーシャルワーク教育研究所**とが連携した研修会やアドバイザー訪問など、特別支援教育・保育等について**保育者の専門性の向上を図る**取組を充実
- ・ 幼稚園等において障害の有無に関わらず誰もが等しく育ち・学び・遊べる環境を整えるため、**多様性に配慮した遊具等の整備**に対する支援を実施
- ・ 保育士が子ども主体の保育業務に注力できるよう、**保育士の加配や保育補助者・支援者の配置及びマネジメントへの支援**を実施
- ・ 多様化する教育的ニーズに対応するため、私立幼稚園が行う**預かり保育**や**特別の支援が必要な幼児の受入れ、医療的ケアを行う看護職員等**の配置を支援
- ・ **モノづくりなどの様々な体験型ワークショップ**を一堂に集めたイベント（R7.11）や、**自然や科学と触れ合うプログラム**（年3回）を開催し、子どもたちの豊かな心を育成

【課題】

- ・ 様々な困難を抱えた子どもへのきめ細かな対応を行うため、**園の実態の把握や複雑化する今日的課題に合った研修や支援**の充実を図ることが必要
- ・ 保育の質の維持・向上を図るため、保育者が**子ども主体の保育業務に注力できる体制・環境**の整備を継続することが必要
- ・ 子どもたちにより良い幼児教育・保育を提供するため、**安定的な保育者の育成・確保・定着**が必要

【今後の方向性】

- ・ 山口県乳幼児の育ちと学び支援センターにおいて、子ども家庭ソーシャルワーク教育研究所の知見等を活用し、**園の特性に応じた効果的な園内研修の実施に係る助言や訪問支援**を充実
- ・ **保育士の加配や保育補助者・支援者の配置**による人員体制の強化及び **ICT の活用等による業務改善**を推進
- ・ 若い世代への**保育職への興味関心の醸成**、保育士・幼稚園教諭等の**処遇改善やキャリア形成支援**、**保育士資格や幼稚園教諭免許の取得に係る支援**を総合的に推進

取組の視点2 ふるさと山口への誇りと愛着を高める

【主な取組】

- ・ 子どもが主体的に地域課題の解決に参画し、ふるさと山口の未来に向けた提案を行う「**子どもが『地域の創り手』プロジェクト**」を実施するなど、ふるさとへの誇りと愛着を高め、豊かな人生を主体的に切り拓く「**地域の創り手**」を育む取組を推進（R8～）
- ・ 地域で活躍している大人との**世代を超えた協働的な学び**のプログラムや、子どもと学生とが**地域資源を活用**した課題に取り組む活動を通じて、子どもと大人との**ナナメの関係**を育み「**憧れの連鎖**」を創出（R6～）
- ・ 小・中学生を対象に、先人に学ぶ講義や他者との関わり合いを重視した体験活動等を通じて、**ふるさとへの誇りや仲間づくりの大切さを学ぶプログラム**（R7.8、R7.12）を開催
- ・ 地域での交流や活躍の場となる「**サードプレイス**」のモデル事業を実施し、若者の郷土愛や地域社会に貢献する意識を醸成（R7～）

【課題】

- ・ 若者が大学等に進学した後も、**ふるさと山口のまちや人々とのつながりを途切れさせないことが必要**
- ・ 学校を核とした**地域全体での「やまぐち PRIDE」の醸成**を図るとともに、魅力ある地域づくりへの子どもたちの主体的な参画による「**地域の創り手**」を育成することが必要
- ・ **子どもたちの主体的な行動を地域の大人が価値づけることにより、ふるさとへの誇りと愛着を育み、それが次の挑戦を生み出す好循環を創出することが必要**

【今後の方向性】

- ・ 若者が大学進学後も、**ふるさとの魅力や課題に向き合い、山口との関わりを見つけ出すことのできる機会を創出**
- ・ **キャリア教育と地域連携教育を一体的に行うこと**で、子どもが地域との関わりの中で自己の在り方や生き方を考える教育活動を推進
- ・ 子どもたちが年間の学びを通じて**地域の未来に向けた提案**を行うなど、躍進する山口県の活力源となる取組を推進
- ・ **大人と子どもの学び合いや子ども・若者の地域づくりへの参画**を通じて、あらゆる世代で「**やまぐち PRIDE**」を醸成

取組の視点3 新たな価値を創造する力を育む

【主な取組】

- ・ 高校生が身近にある課題を主体的に発見し、山口で活躍する大学生や社会人の支援を受けながら**課題解決に取り組む探究プログラム**（R7.8～R8.2）や、**活動を振り返り、互いに学び合う探究サミット**（R7.12、R8.2）を開催
- ・ 高校生を対象に、**米国スタンフォード大学と連携**した英語による発信力の向上や国際感覚の涵養を図るプログラム（R7.9～R8.3）を実施するとともに、**短期留学経費の支援**により、グローバル人材を育成
- ・ **地域医療等をテーマとしたセミナーや先端研究を体験するプログラム、ハイレベル課外授業等**を実施し、志の高い高校生が切磋琢磨して学び合う機会を充実（R7.8～R7.12）
- ・ 小学生から高校生までを対象とした **ICT の活用等に係るコンテスト**（R7.8～R8.1）や、高校生を対象とした **AI やプログラミングの基礎を学ぶ講座**（R7.7～R8.3）を開催し、デジタル人材に必要な資質能力を育成
- ・ **ウェルビーイングワークショップ**の開催により、子どもや若者の幸福度を高め、主体性や自己肯定感、他者と協働する力などを育成（R7 計3回）

【課題】

- ・ **時代や社会の変化に対応した高等教育**により、地域が求める人材を育成することが必要
- ・ 国際社会や地域社会で活躍する、コミュニケーション能力や課題解決力などの国際的素養を持った**グローバル・リーダーの育成**が必要
- ・ **AI 等のデジタル技術**が急速に進展する中、これらを**有効に活用できる人材の育成**が必要
- ・ 探究的な学びに取り組んできた若者が、**実際に社会でその力を発揮できる**ことが必要

【今後の方向性】

- ・ **大学や産業界等の連携・協働**により、**データサイエンスやPBL等の教育プログラム**を充実
- ・ 総合的な英語力に加え、**世界に向けた広い視野と地域の身近な問題を意識する視点**を持つ人材の育成に向けた、探究機会を一層充実
- ・ **ICT や AI 等を活用した、文理横断的・探究的なカリキュラム**を充実
- ・ 地域のエンジニアや大学生等と連携した**高校生向けシビックテック・コミュニティの運営等**を通じたデジタル人材の育成
- ・ 志ある若者が取り組む**地域の課題解決やアイデアの実現**を支援することにより、将来の山口県をリードする人材を育成

取組の視点4 誰にも等しくチャレンジの機会を創る

【主な取組】

- ・ 東京大学先端科学技術研究センターと連携し、**個別最適な学びの場を創出するプログラム**（R7計2回）を開催
- ・ 日本語指導が必要な児童生徒が、日本語で学校生活を営み学習に取り組むことができるよう、小・中学校において、**1人1台端末を活用した遠隔・オンラインによる日本語指導**を実施
- ・ 通常の学級での学習や集団での生活が困難となった生徒の支援を行う「**ステップアップルーム**」を中学校に加え新たに小学校に設置し（R8）、専属の教員による個別支援を実施
- ・ 子どもたちの SOS を早期に発見するため、**スクールカウンセラー等の配置拡充**や1人1台端末を活用した**心の健康観察アプリ**の全県立学校への導入など、**アウトリーチ型の相談支援体制**を充実（R7～）
- ・ **共生社会の実現**に向けて、全ての幼児児童生徒が共に学び、支え合い、将来を見据えて地域社会の一員として心豊かに成長できるよう、**地域住民や企業・大学等との連携協働活動や交流及び共同学習**を充実

【課題】

- ・ 解決すべき課題が複雑化・多様化する中で、特別な支援が必要な子どもの自己のもつ力や可能性を伸ばすことができるよう、**学校・地域・家庭が連携・協働し**、子どもたちの学びと育ちを更に充実することが必要
- ・ 障害のある生徒が**将来の担い手として活躍できる場**を増やしていくことが必要
- ・ 全ての子どもが排除されず、**多様性を尊重しながら共に学ぶ**ことのできる学校づくりが必要
- ・ 様々な困難を抱える全ての児童生徒が安心して学ぶことができるよう、**いじめや不登校等の未然防止や早期発見・早期対応の充実**が必要

【今後の方向性】

- ・ 総合支援学校における**コミュニティ・スクールの連携・協働体制を生かした家庭・地域との交流及び共同学習**、地域交流スペースを活用した**実践的・体験的な学習活動**を推進
- ・ 総合支援学校において、農業や介護福祉分野等の職種を中心に**実践的な職業体験**を充実
- ・ 一人一人のニーズに応じた支援体制の整備等、**インクルーシブ教育システム**の充実に向けた取組を推進
- ・ **アウトリーチ型の相談体制**の整備や**校内の居場所づくり**、**専門家の派遣・配置**などの支援を充実

取組の視点5 地域や時代のニーズに対応し、チャレンジのための環境を整える

【主な取組】

- ・ 県内3大学が設立した「(一社)やまぐち共創大学コンソーシアム」において開発された **SPARC 教育プログラム** において、授業科目が高校在学中に履修可能となる**先取り履修**を開始 (R8.4)
- ・ 山口県立大学将来構想に掲げる**高大連携の推進・強化**に向け、**附属周防大島高校**を開校 (R8.4)
- ・ 地域連携教育の全県的な連携推進体制を構築・強化するとともに、活動充実に向けた、子どもや大人が一堂に会し、地域の未来に向けた熟議等を行う**地域連携教育再加速フォーラム**を開催 (R8.1)

【課題】

- ・ **1人1台端末などのデジタル学習基盤**の活用により、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させることが必要
- ・ **特色ある教育活動**や**より質の高い教育**を提供することにより、生徒の可能性を伸ばす多様な学びの場を創出することが必要
- ・ 子どもたちが学校・家庭・地域のつながりの中で、「やまぐちPRIDE」を醸成することができるよう、**山口県ならではの地域連携教育**を更に深化させることが必要
- ・ **地域・産業の実情や特徴を踏まえた人材育成**を行うことのできる高等教育機関の整備が必要
- ・ **各私立学校における特色ある教育**を一層推進することが必要

【今後の方向性】

- ・ 対話により思考を深める**生成 AI を活用した学習支援アプリ**の普及などにより、生徒が主体的に学ぶことができる環境を整備
- ・ **多様な主体との共創による高校教育システム**の構築や、**専門高校の機能強化、普通科高校の探究・文理横断**による実践的な学びの推進により、魅力ある高校づくりを推進
- ・ 県立高校の特色や高校生が発見した地域の魅力を発信する取組を通じて、**地域との共創による県立高校の特色化**を推進
- ・ 「やまぐちPRIDE」醸成に向けた施策立案に**子どもが参画する機会**を創出するとともに、企業・大学・自治体等と連携・協働するための体制を構築
- ・ 大学、企業等の連携により、**産業・就業構造の変化に対応した教育プログラム**の策定、**リカレント・リスキリング教育**を推進
- ・ **各私立学校における教育条件の維持・向上**や、生徒に係る修学上の**経済的負担の軽減、環境整備等**の支援を充実

取組の視点6 新たな人づくりの推進体制を築く

【主な取組】

- ・ **教員採用試験の早期化**や**大学3年生受験の導入**などの制度改正や、働き方改革などの視点を取り入れた**教員育成指標の改訂**など、教員養成・採用・研修の一体的な取組を推進
- ・ 「**教員をめざす学生の学校体験制度**」や「**採用前教職インターンシップ**」を大学4年間の一連の流れの中に位置付け、教員を志望する学生への切れ目のないサポートを実施するとともに、教員志望者の拡大に向けた**学校見学バスツアー**や**講義・演習**など、多様なセミナーを開催（R7 計12回）
- ・ **教員業務支援員や部活動指導員の配置**により、教員の負担を軽減し、勤務体制等の改善を推進
- ・ 全県的な連携・協働組織「**新たな時代の人づくり推進ネットワーク**」の取組への支援や、外部有識者「**新たな時代の人づくりアドバイザー**」の活用により、人づくりの推進体制を強化
- ・ 様々な学びの場において**ウェルビーイング**を広めていけるよう、学校や保育の現場で取り組む人材の育成を図るファシリテーターワークショップを開催（R7 全3回開催）

【課題】

- ・ **教職員の継続的な確保**や**健康維持・増進**を図ることにより、安定的な教育活動を行える体制づくりが必要
- ・ 教員の負担を軽減し、教育の質を向上させるため、**教職員の働き方改革**の一層の推進が必要
- ・ **地域を支える人材の確保・育成**に向けて、県内企業・高校生のニーズを踏まえた高等教育機関づくりが必要
- ・ **多様かつ質の高い学び**を子どもたちに身近な場所で提供できるよう、人づくりに取り組む**関係者が一層連携・協働**し、その効果を高めることが必要

【今後の方向性】

- ・ 教職の魅力を発信するなど**教員志望者拡大**に向けた取組を行うとともに、メンタルヘルスを含めた**適切な健康管理**を実施
- ・ **統合型校務支援システム**の活用促進や、**部活動の地域展開等**を推進
- ・ 高等教育の充実・強化のため、「**大学リーグやまぐち（地域構想推進プラットフォーム）**」と**連携**した産官学の議論や地域が求める人材像の検討等を行う体制を整備
- ・ **人づくり推進ネットワーク**を活性化するなど、人づくりに取り組む行政、企業、学校、関係団体等がより連携しやすい環境を創出